

【抄 録】 「みんなでいっしょにつくりあげる優しい審美修復」
～成功を導く歯科衛生士・歯科技工士とのチームアプローチ～

くろい歯科クリニック 副院長
黒井 建志

「おかげさまで人前で思い切り笑うことができるようになりました！」

こんな一言をいただくことが、医療人の生き甲斐かもしれません。

お口のコンプレックスで悩まれている方は、思った以上に多いものです。

むし歯、歯周病、不正咬合の治療がある程度確立した今、患者さんの欲求は多様化し、なかでも「審美」は地域、職業、性別、年齢を問わず誰もが求めるものになりました。男性であってもおばあちゃんであっても「歯をきれいにしたい！」という要望を頂くことが皆さんにもおありだと思います。

では質問です。

「きれいにしたいと願う患者さんに私たちはどのように応えてあげたらよいでしょう？」

化粧品やコスメのように、セラミックやホワイトニングを勧めることは、審美ではありません。そこにはお食事を楽しんだり生活を豊かにできる機能が必要です。

「機能を伴った審美」は自然な美しさを体現します。そして、個々の患者さんにあつたコミュニケーションや治療へのアプローチが必要です。

私が多気町の片田舎で行う審美治療は、東京で行っていた審美治療とはアプローチも手法も少し異なります。

患者さんの生活に応じて治療介入も少なく低価格で治療する場合も多々あります。しかしそれは自然なお付き合いの中で生まれる、優しい審美治療だと思います。

審美治療で大事なことは

- ①患者さんと院内のコミュニケーション
- ②難易度の評価と治療戦略
- ③歯科衛生士・歯科技工士とのコラボレーション

です。これらを実現することで患者さんの希望にしっかりと応えることができるのです。1歯の歯周初期治療からラボでの歯科技工を経て口腔内で機能するまでの道のり。侵襲性歯周炎の方の審美治療。咬合崩壊の方の審美など実際のケースを症例写真中心に見ながら、みんなでつくりあげる審美治療を体感しましょう。

明日の臨床や歯科技工に役立つ、わかりやすいお話を皆さんと楽しめれば嬉しく思います。

【略 歴】

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| 2002年 | 岡山大学歯学部 卒業 |
| 2002年～ | 岡山大学歯学部インプラント再生補綴学分野(旧第一補綴科) 在籍 |
| 2009年～2011年 | 東京ミッドタウンデンタルクリニック(高井基普 院長) 補綴担当医 |
| 2011年～ | くろい歯科クリニック 副院長 |